

匂	な		的	港	こ	る	東	2	港	周	れ		い	寝	れ	し		た	
い	い	高	で	を	の	連	京	つ	に	辺	、		。	を	た	た	軽	。	「
を	の	々	あ	離	空	絡	駅	の	つ	の	ま	思		し	。	私	い		当
感	に	東	る	発	港	バ	ま	こ	い	情	た	え		て	ど	は	振		機
じ	、	京	こ	着	を	ス	で	と	て	報	準	ば		い	う	、	動		は
な	空	か	。	す	離	が	は	だ	覚	は	備	こ		る	や	窓	と		茨
い	港	ら		る	発	走	1	け	え	ほ	に	の		内	ら	越	機		城
。	と	百		便	着	っ	時	。	て	と	忙	東		に	東	し	内		東
も	こ	マ		と	す	て	間	一	い	ん	殺	京		穀	京	に	の		京
し	の	イ		比	る	い	に	つ	る	ど	さ	へ		倉	は	見	ア		空
や	航	ル		べ	便	こ	1		こ	得	れ	の		地	、	え	ナ		港
新	空	程		て	は	と	本	茨	と	て	て	出		帯	私	る	ウ		に
手	機	度		空	東	。	、	城	は	い	い	張		に	が	景	ン		着
の	以	し		い	京	も	4	東	必	な	た	は		な	上	色	ス		陸
詐	外	か		て	の	う	ド	京	要	か	た	突		っ	空	に	で		致
欺	、	離		い	他	一	ル	空	最	っ	め	然		て	で	目	目		し
か	文	れ		て	の	つ	で	港	低	た	、	設		し	う	を	を		ま
。	明	て		経	2	は	乗	か	限	。	空	定		ら	た	奪	冷		し
	の	い		済	空	、	れ	ら	の	空	港	さ		し	た	わ	ま		

[illegible]

○

O

に	ク	ら	ほ	社	質	の	的	ら	我	じ	と	研	分	で	半	負	用	会	
来	ラ	感	ど	所	で	上	に	寄	々	ら	い	究	野	き	民	う	サ	社	今
た	イ	じ	の	在	元	が	は	せ	の	れ	う	成	融	た	の	中	ー	向	回
。現	ア	る	念	地	部	ら	、	集	調	、	こ	果	合	会	研	堅	バ	け	の
れた	ン		の	は	下	な	業	め	べ	国	と	の	と	社	究	イ	ー	に	ク
たの	ト		入	武	に	い	績	た	に	の	で	社	産	ら	機	ン	の	無	ラ
は	の		様	蔵	自	リ	の	即	よ	肝	現	会	官	し	関	フ	導	人	イ
1	社		に	村	殺	ス	乏	席	れ	い	地	実	学	い	と	ラ	入	施	アン
人、	員		は	山	者	ト	し	部	ば	り	メ	装	連	。社	大	屋	か	工	ト
既	が		、	市	が	ラ	い	隊	、	で	デ	へ	携	員	手	だ	ら	ロ	は、
に	東		日	と	出	予	ポ	で	社	設	ィ	向	を	数	国		保	ボ	行政
メ	京		本	い	た	備	ス	あ	員	立	ア	け	謳	は	内	十	守	ッ	機
ー	駅		ジ	う	管	軍	ド	る	は	さ	で	た	っ	百	企	数	管	ト	関
ル	ま		ョ	西	理	、	ク	よ	様	れ	は	モ	て	名	業	年	理	や、	機
で	で		ー	方	職	パ	、	う	々	た	大	デ	設	ほ	が	前	全	そ	関
や	出		ク	に	な	ワ	営	だ	な	。だ	々	ル	立	ど	出	に	般	の	や
	迎		す	あ	ど	ハ	業	。具	部	が	的	ケ	さ	。異	資	、	を	管	建
	え			る	本	ラ	成	体	局	、	報	ス	れ		し	半	請	理	設
						気	績		か						官		け		

ん	あ		く		た	て		立	の	せ	所	の	情	作	い	乗	ム	本	り
か	の	「無	理	村	か	驚	「茨	っ	空	ん	作	男	が	っ	る	せ	カ	語	と
ら	プ	人	解	松	と	き	城	た	港	沈	か	が	見	て	と	て	ー	訛	り
。	ロ	に	し	は	思	ま	東	。	の	黙	ら	何	え	み	き	車	ド	り	を
で	ヴ	は	て	二	い	し	京		一	ば	は	を	な	せ	に	を	の	の	し
す	ィ	違	答	度	ま	た	空		件	か	育	考	く	る	は	出	交	強	て
が	ン	い	え	ほ	し	な	港		に	り	ち	え	な	が	顔	し	換	い	い
、	ス	あ	た	ど	た	あ	で		つ	が	の	て	る	、	に	た	を	英	た
荒	に	り	。	聞	よ	。	は		い	続	良	い	。	会	張	。	終	語	村
野	は	ま		き	」	無	周		て	い	さ	る	言	話	り	え	え	で	松
で	人	せ		返		人	囲		投	し	を	か	語	が	付	る	と	自	と
は	が	ん		し		の	に		げ	ま	感	読	の	終	い	と	、	己	い
あ	居	。		た		荒	人		て	う	じ	み	壁	わ	た	は	私	紹	う
り	住	空		あ		野	工		み	の	ら	取	も	る	よ	、	を	介	そ
ま	し	港		と		に	物		よ	で	れ	り	あ	や	う	会	助	を	の
せ	て	を		、		降	が		う	、	る	に	っ	ス	な	話	手	し	男
ん	い	除		よ		ろ	な		と	先	。	く	て	ッ	笑	を	席	、	は
。	ま	き		う		さ	く		思	程	如	い	、	と	顔	し	に	ネ	、
我	せ	、		や		れ			い		何	が	こ	表	を	て	に	ー	日

が	国	の	イン	フラ	スト	ラク	チャー	ー	が	あ	り	ま	す						
か	ら	。	」																
は	あ	っ	た	が	、	他	に	ダム	や	堤	防	が	あ	る	の				
		「	イン	フラ	スト	ラク	チャー	ー	？	確	か	に	道	路					
か	？	」																	
		「	そ	れ	ら	も	そ	う	で	す	が	、	穀	倉	地	帯	で	す	。
食	料	生	産	基	地	は	イン	フラ	で	す	か	ら	。	我	々	も			
時	々	、	行	政	か	ら	委	託	事	業	と	し	て	仕	事	を	受	け	
ま	す	。	我	が	国	で	は	、	道	路	や	ダム	の	維	持	管	理		
と	同	様	、	穀	物	の	栽	培	管	理	や	収	穫	、	流	通	は	細	
分	化	さ	れ	て	一	般	競	争	入	札	に	出	さ	れ	ま	す	。	そ	
れ	を	我	々	の	よ	う	な	民	間	企	業	が	受	注	す	る	の	で	
す	。	」																	
	先	程	ま	で	の	辿	々	し	い	英	語	が	、	い	き	な	り	流	
暢	に	回	り	だ	し	た	の	で	意	表	を	突	か	れ	た	。	ど	う	
も	こ	の	フ	レ	ー	ズ	は	頻	繁	に	話	す	定	型	句	の	よ	う	
だ	。	他	国	の	農	業	事	情	に	は	大	し	た	興	味	は	な	い	
が	、	ど	う	も	私	の	国	の	農	業	の	事	情	と	は	大	分	事	
情	を	異	に	す	る	ら	し	い	こ	と	は	わ	か	っ	た	。			

車	の	身	の	の	こ	バ	を	な	開		イ	て	イ		業	ミ	ン	サ	ビ	イ		バ
を	が	で	い	い	と	ー	目	い	いた	「	ン	ISI	ノ	よ	と	ー	フ	ー	ス	ン	ノ	ー
降	現	メ	い	い	り	シ	の	。	。	よう	フ	へ	ベ	こ	い	ニ	ラ	ビ	の	フ	ベ	サ
と	れ	ガ	50	50	と	テ	当	恰		そ	ラ	。	ー	そ	っ	ン	ス	事	受	ラ	シ	私
、	た	ネ	歳	過	、	ィ	たり	幅		、	ス	私	シ	、	た	グ	ト	業	託	ス	ョ	が
車	。	の	ぎ	の	車	の	に	の		イ	ラ	所	ン	イン	イン	な	ク	を	究	ク	ン	長
寄	先	代	の	男	寄	片	す	男		ン	チャ	の	・	フ	っ	っ	チャ	行	と	チャ	シ	小
せ	程	く	代	が	せ	も	と	は		ラ	ャ	野	ス	ス	て	お	ー	っ	そ	ャ	テ	寺
ま	の	ら	人	一	ま	の	内	握		ラ	・	で	ム	ト	い	り	と	い	の	・	研	す
で	村	い	。	人	で	の	心	手		ス	ア	す	・	ラ	ま	し	い	す	社	ズ	究	こ
3	松	の	事	前	3	、	苦	を		ク	ズ	こ	ア	チャ	て	、	の	こ	会	・	所	こ
人	と	男	調	査	人	実	笑	し		ク	・	こ	サ	ャ	は	ダ	は	こ	実	・	、	こ
の	似	が	で	で	の	際	せ	な		チ	サ	こ	ー	ャ	こ	ブ	こ	こ	装	・	略	こ
ス	た	人	こ	こ	ス	に	ざ	が		ャ	サ	こ	ー	ャ	こ	ル	こ	こ	と	・	し	こ
ー	う	、	こ	こ	ー	ダ	る	ら		ー	ー	こ	ー	ー	こ	、	こ	こ	し	サ	略	こ
ツ	な	恰	こ	幅	細	イ	得	を		・	し	は	し	・	イ	農	イ	イ	の	ー	し	、

とな	た村	うだ	パワ		近い	の件	で研	が、		なる	うご	ゼン	す。	ム	私		で	こ	ン	
った	松は	。確	ハラ	この	い。	の担	究員	こ	「え	ること	ござ	ンテ	こ	のマ	は	「お	教授	こ	フ	
たま	車	かに	ラ、	小野	。今	当を	をし	ちら	え、	とを	います	ーシ	の度	ネー	Johnson	目	職も	で所	ラの	
まで、	を置	に、	研究	寺と	後と	をし	てい	の若	よろ	楽し	す。	ョン	は弊	ージャ	&Taylor	にか	兼任	長を	の両	
鈴木	いて	先	員3	いう	も仲	てい	ます	いは	しく。	みに	本日	を行	社の	ーを	secure	かれて	して	やっ	方を	
と田	駆け	まで	人衆	所長	良く	ます	。あ	鈴木	と	し	は有	機会	サー	努め	のマ	て光	いま	てお	意味	
山に	つけ	少し	は元	は、	やっ	。年	と、	と木	こ	てお	意義	を頂	ビス	てい	ーケ	栄で	ります	ます	し	
至っ	るや	打ち	ポス	どう	てく	頃も	村	と田	ろ	ります	な情	きあ	につ	ます	ティ	す、	すよ	が、	が	
って	終始	解け	ドク	やら	ださい	も貴	松は	山で	で遅	す。	報交	りが	いて	James	ング	Prof.	」	国立	は	
は	無言	てき	のよ	例の	い。	方と	今回	うち	れま	」	換と	がと	プレ	Wan	チー	小野		大学	私	
					」				した					で	ー	寺。			は	

他の2名は、という、ばらばらと窓側の席	ラップトップを開いてカタカタやり始めた。	くで小野寺が参ります、とだけ言う、	あ、って、村松が入ってきた。もうしばらく	料の配布が終わって、たぷり、分くらい	会議室でプレゼンテーションの試写と資			じて口をつぐんだ。	が、どことなくピリピリとした雰囲気を感じ	案内する。どんな研究を？と聞こうとした	あ、って、鈴木と田山が無言で私を会議室に	レベルターへ消えていった。しばらく間が	小野寺は、そう言う、村松を連れてエ	が行くまで始めないでください。」	い。私は村松と話をしてから行くので、私	鈴木、田山、Msさん、を会議室へ案内しな	「では、早速だが会議室で話をしよう。	小野寺が続ける。	る。	ずっと一点を凝視したまま笑みを作ってい
---------------------	----------------------	-------------------	----------------------	--------------------	--------------------	--	--	-----------	----------------------	---------------------	----------------------	---------------------	-------------------	------------------	---------------------	----------------------	--------------------	----------	----	---------------------

く		小	し	政	さ	当	と、	い	写	座			し	忙		取		黙	に	
れ。	「細	野寺	た。	団	れ	社	サ	る	し	り、	私	そ	よ	し	「す	り	更	っ	腰	
と	かい	は	サ	体、	て	の	ポ	法	な	、	は、	う	う。	い	すみ	で	に	て	掛	
こ	話	話	ー	教	お	サ	ー	人	が	前	、	言	。	の	ま	小	る	宙	け、	
ろ	は	を	ビ	育	り、	ー	ト	向	ら	方	人	う		に	せ	野	分	を	机	
で、	あ	遮	ス	研	ク	ス	サ	の	説	の	と	や、		困	ん	寺	を	見	に	
御	と	った。	の	究	ライ	は	ー	セ	明	プロ	長	中		っ	な	が	過	て	資	
社	で		詳	機	アン	世	ビ	キ	を	ジ	机	央		た	あ。	入	ぎ	い	料	
に	村		細	関	ト	界	ス	ユ	行	ェ	を	の		もの	急	っ	た	る。	と	
聞	松		に	で	の	コ	につ	リ	っ	ク	挟	席		です。	な	きた。	頃、		ペ	
き	と		移	あ	多	国	いて	テ	た。	ター	んで	に			電		ゆ	ん	だ	
た	打		段	る	く	に	の	ィ	当	で	対	腰			話		っ	け	け	
い	ち		に	こ	は	お	概要	ソ	社	ス	面	掛		さ	が		く	を	を	
こ	合		な	と	地	い	だ。	フト	が	ライ	に	け		あ、	入		り	置	い	
と	わ		っ	等	方	て		ウ	提	イド	一	る。		始	り		と	いて	て	
が	せ		て、	を	行	採		エ	供	を	人			め	まし		した			
あ	て			説明	行	用		ア	して		で			ま	て		足			

。

テ		な	わ		テ	言	社		い	ら	要	サ			い		と	る	
ス	「そ	ら	ざ	し	ス	っ	が	私	て	さ	請	ー	「そ	小	場	「技	答	で	苛
ト	う	な	わ	か	ト	て	雇	は	い	ず	し	バ	う	野	合	術	え	韓	立
に	し	か	ざ	し、	の	い	っ	内	る。	に	た	ー	で	寺	が	的	る	非	ち
つ	た、	っ	こ	同	話	る	た	心	」	証	と	に	は	は	あ	に	他	子	を
き	い	た	の	時	に	ん	会	困		拠	き	不	再	り	に	可	は	で	覚
ま	わ	が	国	に、	し	だ	社	惑		を	に、	正	び	ま	能	で	な	は	え
し	ゆ	今	に	な	て	？	に	し		隠	そ	ア	遮	す。	あ		い	な	る
て	る	解	日	ぜ	は	た	ク	た。		滅	れ	ク	る。		る			い	の
は、	ペ	っ	帰	こ	仰	だ	ラ	。		す	を	セ			あ			か。	を
別	ネ	た。	り	の	々	の	ッ	自		る	実	ス			場			だ	ぐ
途	ト		出張	ご	し	ペ	ク	社		こ	行	を			合			が	っ
お	レ		を	時	い	ネ	さ	の		と	し、	行			と、			こ	と
見	ー		し	世	言	ト	せ	サ		が	委	う			、			れ	こ
積	シ		な	に	い	レ	る	ー		可	細	サ			そ			に	え
り	ヨ		く	私	方	ー	？	バ		能	を	ポ			う			も	る。
が	ン		て	が	だ。	シ	何	ー		か	漏	ー			で			淡	
必			は			ョ	を	自		と		を			な			々	ま

[illegible]

—

往復している。	の上が目が滑り、同じ例文をずっと左右に	語学の勉強がうまく進まなくなっただ。活字	ルーチンワークに変化はないが、読書と	ではない誰かだ。	がみられる前に転職する。鍛錬すべきは私	栄冠を授けられた者に助勢し、勢いに陰り	私の哲学はこれとはやや異なる。勝利の	者より、直ちにこれを奪う」	と同時に、一勝に満足して治平に安んずる	して既に勝てるものに勝利の栄冠を授くる	『神明はただ平素の鍛錬に努め、戦わず	している。	昔、秋山という参謀は、こんな言葉を残	細の数字が増えていくことを実現している。	ルーチンワークをこなすだけで毎年給与明	我々のサービスを求めていることは、私が	資料作成、社内会議の繰り返しだ。時代が	日々が続いた。毎日4回のリモート営業、	帰国後の1ヶ月は、代わり映えのしない
---------	---------------------	----------------------	--------------------	----------	---------------------	---------------------	--------------------	---------------	---------------------	---------------------	--------------------	-------	--------------------	----------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	--------------------

。

ケ	映			差	り	ら	い	で	を	期	苛	い		真	が	な	だ		
ー	っ	教		は	、	ず	な	あ	受	限	烈	て	も	意	依	い	。	一	原
ジ	た	育		何	な	、	か	り	け	が	な	。	う	を	頼	仕	表	つ	因
の	の	研		に	お	他	っ	、	入	来	競	彼	一	測	し	事	面	は	ら
利	であ	究		よ	か	人	た	哀	れ	れ	争	ら	つ	り	た	だ	上	、	し
用	ろ	機		も	つ	の	が	な	る	ば	を	は	は	か	か	。	は	ペ	き
を	う。	関		の	此	生	、	生	。	業	戦	真	、	ね	っ	し	ル	ネ	も
開	。	へ		で	方	殺	小	き	私	績	い	理	研	て	た	か	丨	ト	の
始	三	の		あ	に	与	野	方	に	に	、	探	究	い	のは	、	チ	レ	は
し	は	導		ろ	近	奪	寺	で	は	よ	つ	求	者	た	何	あ	ン	丨	2
た	我	入		う	い	を	は	あ	理	ら	か	の	と	っ	だ	の	ワ	シ	つ
。	々	実		か	匂	握	研	る	解	ず	の	た	い	た	っ	会	丨	ョ	あ
	の	績			い	る	究	と	し	ク	間	め	う		た	議	ク	ン	る
	包	が			が	側	者	し	か	ビ	の	に	職		の	室	を	テ	
	括	魅			し	の	に	か	ね	に	薄	人	能		か	で	崩	ス	
	的	力			た	人	も	思	る	な	給	生	集		。	小	す	ト	
	パ	的			。	間	か	っ	生	る	を	を	団		そ	野	こ	の	
	ッ	と			こ	で	か	て	き	契	得	捧	に		の	寺	と	一	
					の	あ	わ		方	約	て	、	つ				の	件	

部門を立ち上げました。より正確には、農業	切るとともに、新規にアグリビジネス研究	あると睨んで、自社の研究員の3割の首を	小野寺は、このメガファームがドル箱で	81%、78%、91%を占めるに至っています。	稲、麦類、大豆の総収量のそれぞれ	せると、日本の農地面積の75%を占め、水	のメガファームの経営耕地面積を足し合わ	ファームにより割拠されています。これら	ト部隊への司令権は、今や3つのメガ	日本国内に126箇所設置された農業用ロボッ	「まずは前提となるデータを共有します	終えてから私は口を開く。	午後の会議が始まった。調査資料を配り			のらしい。	シヨンズ・リサーチ・サードビスのためのも	ら新たに開発と導入を請け負ったオペレー	ケジュールされた。HEEが農業関係の企業か	ペネトレーションテストは2ヶ月後にス
----------------------	---------------------	---------------------	--------------------	-------------------------	------------------	----------------------	---------------------	---------------------	-------------------	-----------------------	--------------------	--------------	--------------------	--	--	-------	----------------------	---------------------	-----------------------	--------------------

系	の	国	立	研	究	機	関	の	研	究	室	を	買	収	し	、	そ	っ	
く	り	そ	の	ま	ま	カ	ッ	ト	ア	ン	ド	ペ	ー	ス	ト	し	た	、	
と	い	っ	た	方	が	よ	い	で	し	ょ	う	。							
	と	こ	ろ	が	、	国	研	に	は	セ	キ	ュ	リ	テ	ィ	の	プ	ロ	
が	お	ら	ず	、	ま	た	自	社	内	で	独	自	な	セ	キ	ュ	リ		
テ	ィ	対	策	を	開	発	運	用	し	た	場	合	、	万	が	一	の	際	
に	三	が	全	責	任	を	負	わ	ね	ば	ば	な	ら	な	く	な	る	。	
そ	う	考	え	た	小	野	寺	は	、	教	育	研	究	機	関	向	け	に	
国	際	的	に	実	績	が	あ	る	我	々	の	サ	ー	ビ	ス	を	利	用	
し	ょ	う	と	考	え	た	わ	け	で	す	。								
	我	々	の	責	務	は	、	セ	キ	ュ	リ	テ	ィ	ソ	フ	ト	ウ	エ	
ア	の	提	供	、	サ	ー	バ	ー	の	構	築	お	よ	び	保	守	管	理	、
そ	し	て	二	回	程	度	の	ペ	ネ	ト	レ	ー	シ	ョ	ン	テ	ス	ト	
の	実	施	と	報	告	で	す	。	前	者	二	つ	に	つ	い	て	は	、	
ベ	ー	シ	ッ	ク	パ	ッ	ケ	ー	ジ	ド	へ	の	契	約	と	い	う	だ	
け	で	す	が	、	ペ	ネ	ト	レ	ー	シ	ョ	ン	テ	ス	ト	に	つ	い	
て	は	今	後	一	ヶ	月	程	度	で	詰	め	の	協	議	を	行	い	、	
二	ヶ	月	後	の	実	施	、	三	ヶ	月	以	内	に	技	術	レ	ポ	ー	
ト	を	提	出	す	る	予	定	と	な	っ	て	い	ま	す	。				

たり	類	調		我	塵	ん		る	ら	本		さ	た	ん	す	ア	や	入	
り	全	査	第	々	も	だ	「	わ	、	当	「	。	め	、	る	ン	な	を	「
1	員	に	一	の	ない	わ	う	。それ	あ	に	え	」	の	不	ゲ	ト	い	完	僕
日	に	よ	、	領	い。	け	ん、	は	の	ロ	え、		証	可	ー	も	。	全	も
3000kcal	同	れ	世	分	な	で、	今	人	可	ボ	解		拠	抗	ム	こ	ロ	に	そ
食	じ	ば、	界	だ。	す	我	日	道	愛	ッ	っ		づ	力	さ。	ち	ボ	シ	う
べ	量	世界	は		べき	々	の	的	そ	た	て		く	で	悪い	ら	ッ	ャ	思
ら	行	で	食		こと	が	状	に	う	ち	い		り。	す	の	も	ト	ッ	う
れ	渡	生	料		を	責	況	・	な	が	る		そ	っ	は	傷	が	ト	さ。
る。	らせ	産	で		な	任	は	・	国	パ	わ。		れ	て	僕	一	暴	ア	も
彼の	た	さ	溢		す、	を	彼	・	の	ニ	け		を	言	ら	つ	走	ウ	ち
の	場	れる	れて		これ	感	の	」	人	ッ	れ		依	っ	じ	負	し	ト	ろ
国	合、	穀	いる。		が	じる	国	私	々	ク	ど、		頼	て	ゃ	わ	始	す	ん、
一	一	物を	る。			必要	の	が	は	を	も		さ	裁	あ	ない	め	る	こ
国	人	を人	FAO			は	人	遮	食	起	し		れた	判	り	しか	ても	ゲ	れ
の	あ		の			微	々	る。	い	こ	た		の	で	ませ	けを	ク	ーム	は
							が		物	した	も			勝		ライ	ラ	じゃ	侵
							選		に	困				て			イ		
														る					

食料	なんぞ、	世界の	穀物	を	ち	よ	つ	と	掃	き	集						
め	た	ら	お	釣	り	が	来	る	く	ら	い	の	量	に	な	る	
さ。	」																
Michel	は	畳	み	掛	け	る	よ	う	に	言	う。						
	「食	料	不	足	の	程	度	は	ポ	テ	ン	シ	ヤ	ル	場	を	
	成	す	る。	そ	し	て、	食	料	の	流	れ	る	フ	ラ	ッ	ク	
	は	そ	の	勾	配	に	比	例	す	る。	フ	ィ	ツ	ク	則	の	
	な	応	用	さ。	流	れ	は	見	え	ざ	る	神	の	手	に	よ	
て	・	・	・	。	」												
も	う	い	い	わ、	と	呆	れ	た	Nicolson	は	議	論	を	打	ち		
切	っ	た。	僕	ら	も	皮	肉	が		過	ぎ	た	な、	と	内	心	反
省	し	た	が、	一	貫	性	の	た		め	に	表	明	を	保	留	し
限	定	す	る	こ	と、	攻	撃	は	デ	ー	タ	連	携	向	け	に	提
バ	ー	上	の	ロ	ボ	ッ	ト	指	揮	管	理	イ	ン	ス	タ	ン	ス
シ	ョ	ン	テ	ス	ト	の	タ	ー	ゲ	ッ	ト	を	ク	ラ	ウ	ド	サ
攻	撃	の	〜	っ	の	い	ず	れ	か	ま	た	は	両	方	を	タ	ー
お	よ	び	イ	ン	ス	タ	ン	ス	の	解	放	ポ	ー	ト	に	対	す
供	さ	れ	て	い	る	API	に	対	す	る	不	正	な	リ	ク	エ	ス
限	定	す	る	こ	と、	攻	撃	は	デ	ー	タ	連	携	向	け	に	提
バ	ー	上	の	ロ	ボ	ッ	ト	指	揮	管	理	イ	ン	ス	タ	ン	ス
シ	ョ	ン	テ	ス	ト	の	タ	ー	ゲ	ッ	ト	を	ク	ラ	ウ	ド	サ

		せ	あ	明	す	提		か	で		語	す	か		ら	ら	シ	時	て		
		ん	る	日	か	案		？	応		で	か	？		ず	画	ョ	に	、	グ	
		。	と	、	？	書			え		飛	。	す		に	面	ン	、	デ	レ	
		「	か	メ	小	を			る		ん	」	み		出	を	投	仕	ィ	ー	
			で	ガ	野	今			。		で	と	ま		て	見	資	事	ナ	ト	
				フ	寺	す			こ		き	聞	せ		み	る	か	用	ー	バ	
			バ	ア	が	ぐ			い		た	き	ん		る	。	、	の	に	リ	
			ケ	ー	先	に			つ			覚	、			非	保	ス	向	ア	
			ー	ム	程	送			に			え	今			通	険	マ	か	リ	
			シ	と	来	っ			は			の	少			知	屋	ホ	お	ー	
			ョ	の	ま	て			盆			あ	々			だ	か	が	う	フ	
			ン	折	し	頂			ウ			る	お			。	と	鳴	と	に	
			中	衝	て	く			ィ			声	時			と	う	っ	部	行	
			本	を	、	こ			ー			が	間			り	ん	た	屋	く	
			当	行	ど	と			ク			早	よ			あ	ざ	。	を	準	
			に	う	う	は			は			口	ろ			え	り	ま	出	備	
			す	必	し	で			無			日	し			ず	し	た	る	を	
			み	要	て	き			い			式	い			名	な	マ	と	整	
			ま	が	も	ま			の			英	で			乗	が	ン	同	え	

色	青	に	だ			れ	の	を			せ	そ	ダ	を			こ	つ	
を	に	変	け	日		た	バ	離	心		る	の	ー	仕	夕		ん	ぶ	電
買	金	色	鮮	常		。	ケ	れ	地		つ	い	ツ	上	食		な	や	話
う	を	し	や	は			ー	た	よ		も	ず	バ	げ	の		案	い	を
の	注	、	か	緋			シ	の	い		り	れ	ー	て	パ		件	て	打
は	ぐ	緋	な	色			ョ	は	疲		は	に	、	送	エ		は	か	ち
怠	の	色	青	だ			ン	日	れ		な	も	明	信	リ		二	ら	切
惰	は	に	に	。			は	後	と		い	あ	日	し	ア		度	、	り
な	一	至	彩	日			エ	の	と		。	の	は	た	を		と	ス	、
消	部	っ	ら	常			メ	こ	も			社	グ	。	待		や	マ	承
費	の	て	れ	は			ラ	と	に			畜	レ	今	っ		る	ホ	知
者	冒	定	、	変			ルド	だ	ケ			共	ー	晩	て		まい	の	し
だ	険	常	時	化			と	っ	ア			に	ト	は	い		い	電	ま
。	家	と	の	す			紺	た	ン			指	バ	行	る		、	源	し
	で	成	経	る			碧	。	ズ			一	リ	き	間		と	を	た
	あ	り	過	時			に	幸	国			本	ア	つ	に		誓	落	、
	り	果	と	に			彩	い	際			触	リ	け	提		っ	と	と
	、	て	と	一			ら	私	空			れ	ー	の	案		た	し	一
	緋	る	も	瞬					港			さ	フ		書		。	た	言
		。											、					。	

[illegible]

[illegible]

—

[illegible]

た、	代	本		で		て	ら、	現	騙	の	は		日	厚	テ	の		な	い、
これ	案	ガイ	「メ	す	「し	水泡	この	在	し	で	こ	「メ	前	い	ィ	遠	村	資	と
ま	を	イド	ガ	か？	かし、	に	の	の	て	あ	この	とな	紙	管	理	隔	松	料	突
で	示	ライ	フ	。」	、	帰	ま	と	く	り、	ガイ	っ	束	理	ガ	指	は	が	然
の	せ	イン	ァ		一部	し	ま	こ	れた	到底	ド	て	を	イ	イ	揮	カ	。」	通
契	ば	に	ム		解	ます	で	ろ	たな、	受	ライ	い	取	ド	運	ン	の		達
約	再	沿	側		消、	。」	は	契	と	け	ン	る	り	ライ	用	中	か		さ
の	考	っ	は、		と		こ	約	主張	入	か	。	出	ン、	事	か	ら		れ
内、	す	て	本		は		れ	書	し	れ	ら	作	し	と	業	ら	、		ま
サ	っ	契	日		ど		ま	は	て	な	大	成	て	表	者	、	農		し
ー	て	約	の		う		で	効	きた	い	き	者	手	紙	に	業	業		て
バ	い	書	会		い		の	し	の	。	く	は、	渡	に	お	用	用		。
ー	ま	を	議		う		段	て	で	よ	逸	経	す	打	ける	ロ	ボ		さ
サ	す	修	ま		こ		取	い	す	く	脱	済	。	た	セ	ッ	ッ		ら
イ	。	正	で		と		り	ま	の	も	し	産	告	れ	キュ	ト			に、
ド	ま	し	に				が	せん	です	も	た	業	示	た	リ				こ
		て					す	か	。		も	省	日	。					ん

。

[illegible]

O

伝	と			り	う	さ	の	ら	基		が	が	輪	あ	ラ	車	入	人	
え	な	メ		に	だ	せ	器	確	本	こ	る	乗	を	と	ク	を	っ	語	農
る	っ	ガ		立	と	る	用	か	的	こ	た	れ	履	は	タ	降	て	を	業
と	て	フ		ち	分	の	な	め	な	へ	め	る	い	大	ー	り	い	操	用
、	い	ア		去	か	に	自	る	見	来	の	よ	た	小	や	て	る	る	ロ
会	る	ーム		った	る	特	動	こ	落	た	小	う	車	の	汎	開	か	ロ	ボ
議	。	の		。	と	段	運	と	と	目	さ	な	両	差	用	け	と	ボ	ッ
室	村	本			、	変	転	に	し	的	な	キ	が	は	コ	放	思	ッ	ト
に	松	社			我	わ	車	あ	が	は	は	ャ	並	あ	ン	た	っ	ト	と
通	が	ビ			々	っ	に	っ	な	、	し	ン	んで	れ	バ	れた	て	が	い
さ	受	ル			は	た	過	た	い	手	ご	と	いた	ど	イ	た	いた	閉	う
れ	付	の			長	配	ぎ	だ	か	元	ま	、	。	い	ン	門	。	鎖	か
た	に	20			居	慮	な	が	を	の	で	キ	ご	ず	ハ	扉	だ	さ	ら
。	名	階			は	は	い	、	現	即	付	ャ	丁	れ	ー	を	が	れた	、
	前	が			無	必		要	物	席	い	ビ	寧	も	ベ	除	、	た	四
	と	、			用	要	緊	は	を	契	て	ン	に	履	ス	く	実	倉	脚
	要	受			と	な	急	手	見	約	い	に	人	帯	タ	と	際	庫	歩
	件	付			ば	さ	停	先	な	書	る	上		か	ー	、	に	に	行
	を				か	そ	止		が	に	。			車	、	ト			で

フ	た	よ			が	れ	イ			で								の	な	ガ	
ァ	。	い	暫		つ	が	モ	会		広	他			一		ビ		か	小	ラ	
丨	ネ	引	く		か	な	な	議		が	方			方		ル		か	会	ス	
ム	丨	き	待		な	け	ど	室		る	に			に		の		っ	議	張	
の	ム	締	つ		い	れ	の	の		穀	は			は		両		た	室	り	
CEO	カ	ま	と		。	ば	作	壁		倉	は			都		側		部	の	の	
で	丨	っ	、			、	物	は		地	、			心		の		屋	束	、	
あ	ド	た	3			殆	の	水		帯	稻			へ		景		に	を	大	
る	か	体	人			ど	意	稻			、			向		色		通	抜	き	
と	ら	軀	が			他	匠	麦			、			け		が		さ	け	な	
解	、	の	入			業	で	大			豆			た		見		れ	る	電	
っ	彼	男	っ			種	彩	豆			、			高		え		る	と	話	
た	が	は	て			の	ら	大			向			層		る			、	ボ	
。	こ	小	き			大	れ	企			こ			ビ		大			会	ッ	
日	の	林	た			企	て	業			う			ル		き			議	ク	
本	メ	と	。			業	い	と			に			群		な			室	ス	
式	ガ	名	血			区	る	サ			地					部			ー	の	
に		乗	色			別	こ	ツ			平					屋			と	よ	
		っ	の					マ			線					。			札	う	

契	約	書	と	資	料	を	後	ほ	ど	pdf	で	CTO	の	佐	藤	ま	で																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	---	-----	---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

こ	と	を	織		偶			契	用		目				宜	ま	ン	お	
の	は	監	で	「	々	「	唸	約	ロ	「	だ	小	「	数		す	を	渡	
国	議	督	す	我	だ	そ	る	を	ボ	何	け	林	お	秒	し	が	し	し	
の	論	す	。	々	と	の	よ	結	ツ	の	は	は	い	の	い	、	て	く	
食	す	る	確	は	は	ガ	う	び	ト	こ	爛	相	、	沈	で	見	送	だ	
料	る	役	か	、	言	イ	に	た	に	と	々	変	誰	黙	す	積	付	さ	
生	機	所	に	一	わ	ド	小	い	関	で	と	わ	の	の	ね	額	い	い	
産	会	で	、	法	せ	ラ	野	だ	す	し	光	ら	入	後	。	の	た	。	
基	は	す	経	人	ん	イ	寺	け	る	ょ	っ	ず	れ	、		変	し	契	
盤	あ	の	済	で	ぞ	ン	が	で	ガ	う	て	表	知	小		更	ま	約	
を	り	で	産	す	。	が	言	す	イ	。	い	情	恵	野		は	す	書	
守	ま	、	業	が	「	出	う	よ	ド	我	る	を	だ	寺		受	。	に	
る	す		省	、		た		「	ラ	々		変	？	が		け	は	明	
た	が	我	は	役		タイ			イ	は		え	。	吠		付	は	日	
め	、	々	農	所		ミ			ン	単		な		え		け	は	中	
の	あ	も	林	と		ン			に	に		い		た		ま	再	に	
議	く	役	水	は		グ			沿	、		、		。		せ	度	サ	
論	ま	所	産	別		だ			っ	農		い				ん	確	イ	
で	で	方	業	組		。			た	業		や				。	認		

日々変化します。当然、戦略は揺るがずと	しかし小野寺先生、ビジネスのやり方は	「よくご存知ですね。ええ、そうです。」	実際あんたらはそういう段階を踏んだ。」	う。自社農機の売却と、IaaSの導入に際して、	から、追加で必要な契約を結んでいたら	い。これまでであれば、一旦契約を結んで	この度のやりくちはあんたがたらしくな	とだけ契約を結んでいる。」	からな。だからこそ我々はそのあんたがた	談合事件の外部調査委員会の長は私だった	だが、何より、昨年の基盤整備事業を巡る	「ああ、知っている。新聞でも報道され	しょう。」	せん。そのことは小野寺先生もご存知で	の内では唯一、一度も談合に参与していま	3大メガファーム、中堅メガファーム∞社	は知りませんが。実際に、弊社はいいわゆる	イングを行うかどうかとはしません。他社の事情	あり陳情です。弊社の利益のためにロビー
---------------------	--------------------	---------------------	---------------------	-------------------------	--------------------	---------------------	--------------------	---------------	---------------------	---------------------	---------------------	--------------------	-------	--------------------	---------------------	---------------------	----------------------	------------------------	---------------------

、

麦、	大豆が	数百万人分	消失すること	を意味	伴います。	1割の減収は、	この国から	米、	しました。	大きい農地には	大いなる責任が	垣にまで及び	ます。	総面積は	100万ha	を突破	我々の管理する	圃場は、	北は網走、	南は石	「小野寺先生、	僕らは	大きくなりました	しました。	しながら、	こんなことを	語った。	としか	答えな	かった。	ただ、	会議室を	見渡	小林はその	質問には、	お話で	きません、	戦術を変え	させたのか。」	じゃあ、	一つ教えて	欲しい。	何が	君たちの	「君たちが	今でも	青臭くて	安心した	よ。	小野寺の	眉間のシワが	緩む。	い。」	かかっている	んですよ。	綺麗事で	命は守れな	小野寺先生、	今や	数千万人の	国民の命が	か	とは	何でも	しますよ。	我々の	仕事には	ね、	食生活を送	って	いた	ただ	く	ために、	必要	なこ	理念を貫	き、	国民の	皆様に	安心	して	日々	の	も	戦術は	変わ	ります。	我々	は、	我々の	創業
----	-----	-------	--------	-----	-------	---------	-------	----	-------	---------	---------	--------	-----	------	--------	-----	---------	------	-------	-----	---------	-----	----------	-------	-------	--------	------	-----	-----	------	-----	------	----	-------	-------	-----	-------	-------	---------	------	-------	------	----	------	-------	-----	------	------	----	------	--------	-----	-----	--------	-------	------	-------	--------	----	-------	-------	---	----	-----	-------	-----	------	----	-------	----	----	----	---	------	----	----	------	----	-----	-----	----	----	----	---	---	-----	----	------	----	----	-----	----

。

で	が				れ	林			い			は	持		は	ボ	消	立	す
す	渴		対	そ	。	く			た		小	い	た		い	ッ	え	て	る
か	いた	「	面	う	で	ん	「		い	「	野	か	な	・	か	ト	る	て	の
。	た	皆	に	言	は	、	え		ん	私	寺	な	い	・	な	を	ん	い	で
」	で	さん	座	い	。	細	え		だ	は	は	企	・	い	暴	で	る	る	す
	し	、	っ	残	」	か	、		ね	で	目	業	そ	い	走	す	。	人	よ
	よ	口	た	す		い	は		君	は	を	に	し	ん	さ			々	。
	う	が	佐	や		話	諸		は	。	見	、	て	で	せ			の	今
	。	開	藤	、		は	君		」		開	こ	、	す	た			手	、
	弊	き	さ	小		こ	、				い	の	こ	よ	り			元	や
	社	っ	ん	野		の	わ				た	聖	の		、			か	っ
	の	ぱ	が	寺		若	し				。	職	農		盗			ら	と
	麦	な	初	は		い	は					を	と		難			順	の
	茶	し	め	去		衆	先					任	食		さ			番	こ
	で	で	て	っ		に	に					せ	へ		せ			に	と
	も	す	口	た		聞	帰					る	の		る			、	で
	い	よ	を	。		い	る					わ	責		わ			食	生
	か	。	開			て	。					け	任		け			料	計
	が	喉	く			く	小					に	感		に			が	を

[illegible]

の	か	な			契	頃	後	れ	に			た	林			が	結	を	
ア	み	が	最		約	、	9:28	ば	見	複		。	農	部		打	露	傾	タ
ル	を	ら	上		書	佐	を	大	え	数			産	屋		ち	し	け	ク
コ	刺	ナ	階		一	藤	も	し	る	の			と	に		付	た	た	シ
ー	激	ッ	の		式	、	っ	た	が	契			の	入		け	ホ	か	ー
ル	し	ッ	ラ		が	村	て	負	、	約			調	り		る	テ	の	が
を	、	を	ウ		入	松	す	荷	関	書			整	、		。	ル	よ	ホ
提	ジ	齧	ン		っ	両	べ	で	係	の			が	本			の	う	テ
供	ン	っ	ジ		て	氏	て	は	者	連			終	社			ガ	な	ル
す	ト	て	で		い	の	の	な	全	鎖			わ	に			ラ	土	に
る	ニ	い	ジ		こ	メ	調	い	員	的			る	報			ス	砂	到
。	ッ	る	ン		と	ー	整	事	が	な			と	告			を	降	着
	ク	。	ト		だ	ル	は	実	す	変			、	を			洗	り	す
	は	ナ	ニ		ろ	ボ	完	、	ば	更			夜	上			う	と	る
	糖	ッ	ッ		う	ッ	了	現	や	は			に	げ			よ	な	頃
	分	ッ	ク			ク	し	在	く	一			入	、			う	っ	に
	と	は	を			ス	た	、	対	見			っ	、			に	た	は
	少	こ	飲			に	。	午	応	派			て	小			雨	。	、
	量	め	み			は	今		す	手			い				滴	逆	盆

タ	閉	ン	芸	動	ニ			る	掛		ず	な		い	私	す	案		の		
ッ	じ	の	能	翻	ュ			。	け	何	っ	の		て	が	べ	件	各	仕	私	
チ	よ	広	人	訳	ー				が	か	と	に		い	す	て	は	々	事	の	
す	う	告	の	を	ス				口	、	嫌	、		く	べ	が	無	が	も	仕	
る	と	、	不	オ	サ				を	こ	な	な		だ	き	う	事	な	、	事	
	し	ブ	倫	ン	イ				開	の	予	ぜ		け	す	ま	完	す	す	も	
	て	ロ	、	に	ト				い	平	感	だ		だ	べ	く	了	べ	べ	、	
	視	ガ	熱	し	を				て	坦	が			。	て	行	し	き	て	小	
	界	ー	中	、	開				い	な	し				の	未	、	こ	よ	野	
	の	の	症	ス	く				る	道	て				こ	来	私	と	く	寺	
	端	コ	の	ク	。				よ	の	い				と	が	は	を	定	ら	
	に	ラ	警	ロ	地				う	ど	る				は	た	実	な	義	の	
	映	ム	戒	ー	域				な	こ	。				、	だ	績	す	さ	仕	
	っ	・	、	ル	..				予	か					た	そ	を	こ	れ	事	
	た	・	脱	す	日				感	に					だ	こ	一	と	て	も	
	記		毛	る	本				が	、					そ	に	つ	で	い	、	
	事		サ	。	、				し	妙					こ	あ	増	、	る	小	
	を		ロ		自				て	な					に	り	や	こ	。	林	
									い	仕					歩	、	す	の		ら	

的	産	い	で					代	論	る	に	右	CEO	プ	研				
な	省	さ	す	「	議	ま		理	客	と	移	フ	が	の	究	論		徹	
機	が	さ	が	今	題	ず		モ	の	勝	動	リ	招	メ	科	客	底		
能	農	か	私	日	は	、		デ	ス	手	し	ッ	聘	ガ	長	に	討		
と	政	不	は	は	、	元		ル	キ	に	、	プ	さ	フ	、	は	論		
い	を	満	、	よ	「	官		が	ャ	議	論	す	れ	ァ	熊	元	..		
う	担	を	現	ろ	地	僚		勝	ニ	論	者	る	て	ー	本	官	次		
も	っ	覚	在	し	方	〜		手	ン	が	を	と	い	ム	農	僚	の		
の	て	え	の	く	の	名		に	グ	レ	決	、	た	、	専	が	世		
を	い	て	経	お	雇	に		議	を	ン	め	論	。そ	北	校	〜	代		
大	た	い	産	ね	用	議		論	も	ダ	て	者	れ	海	長	名	の		
事	頃	ま	省	が	維	論		を	と	リ	か	が	ぞ	農	、	、	農		
に	は	す	主	い	持	を		進	に	ン	ら	控	れ	業	国	京	業		
し	、	。昔	導	し	に	さ		め	再	グ	議	室	の	サ	内	都	と		
て	農	、	の	ま	つ	せ		て	構	さ	題	か	写	ー	シ	大	は		
い	業	農	農	す	い	る		く	成	れ	を	ら	真	ビ	ェ	学	？		
た	の	林	政	。早	て	。〃		れ	さ	る	選	ひ	の	ス	ア	工			
よ	多	水	に	速	。〃			る	れ	。各	択	な	を	の	ト	学			
う	面		は					。〃	た		す	壇			ッ				

と	ブ	た	イ	ま	メ	地	フ	フ	で	が	れ	い	ま	よ	と	る	た	も	に	
い	す	め	ン	た	ガ	面	ア	ア	出	撤	て	っ	し	う	の	の	か	、	思	
う	る	に	フ	、	フ	積	ー	ー	現	退	い	た	た	に	バ	で	ら	農	わ	
監	こ	、	ラ	自	ア	の	ム	ム	し	し	ま	都	が	思	ラ	は	、	業	れ	
獄	と	都	を	治	ー	97%	の	に	ま	、	し	市	、	わ	ン	な	単	と	ま	
に	す	市	メ	体	ム	を	耕	よ	し	人	た	と	農	れ	ス	く	に	い	す	
囚	ら	の	ガ	が	は	占	地	理	た	口	。農	農	泊	ま	と	、	能	う	よ	
わ	叶	市	フ	コ	エ	め	面	さ	。農	が	地	村	、	す	い	地	率	の	地	
れ	い	民	ア	ス	ン	る	積	れ	地	1000	が	の	グ	。また	う	域	を	は	方	
て	ま	が	ー	ト	ク	ま	と	、	は	人	今	交	リ	、	も	の	上	地	方	
し	せ	農	ム	カ	ロ	で	合	中	75%	を	や	流	ン	今	の	雇	げ	の	雇	
ま	ん	村	に	ッ	ー	に	わ	堅	が	切	、農	に	ツ	、	を	用	る	方	用	
っ	。市	を	売	ト	ジ	な	せ	∞	3	る	農	も	ー	今	大	、	合	の	維	
た	民	自	却	の	ャ	り	る	メ	都	都	村	予	リ	や	事	地	理	重	持	
の	は	由	さ	た	ー	ま	と	ガ	道	府	か	算	ズ	死	に	域	化	要	に	
で	、	に	せ	め	を	し	実		大	県	ら	が	ム	語	し	の	を	産	つ	
す	都	ド	ら	に	開	た	に		メ	ま	は	当	と	と	て	暮	進	業	い	
こ	市	ライ	た	公	始	。農	全		ガ		人	ら		り	た	ら	め	で	て	

、

す。	また、	エンクロージャーと言	うのは不	は不可欠ですの	で、ご理解頂ければ幸いで	も限りがありますので、予算の選択と集中	はわずかに2%に過ぎません。我が国の税収に	から、農村へ居住してみたいと答えた国民	るつもりですよ。しかし、実際の調査結果	ると思いますし、我々は喜んでお手伝いす	ニーズがあればそういうビジネスが生まれ	果たしてニーズはあるのでしょ	うか。仮に	を下回る中で、都市農村間交流とい	っても、	また、現実として農村居住者が人口の1%	レトリックに過ぎません。	の補助金政策を墨守するため	の時代遅れの	まず、多面的機能というのは、WTOで自国	「ふむ、此方の見解はやや異な	ります。	他方は応じる。	すべきです。」	に、再び町が作られるよう積極	的な支援を	も後押しし、地方に辛うじて	点在する農村	れからは、地方に居住する自由を	国として
----	-----	------------	------	---------	--------------	---------------------	-----------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	----------------	-------	------------------	------	---------------------	--------------	---------------	--------	----------------------	----------------	------	---------	---------	----------------	-------	---------------	--------	-----------------	------

題	病	海	を	ま	こ	用	ラ	収		態	を	旧	法	業	放	す	し	の	適	
を	気	道	拒	た	と	し	を	し	ま	で	経	弊	こ	を	棄	。	ま	よ	当	
起	を	で	む	、	を	て	、	た	た	し	な	に	そ	始	地	貴	し	う	で	
こ	持	は	こ	私	、	く	メ	ん	、	た	い	凝	が	め	は	方	し	な	す	
し	ち	都	の	有	何	だ	ガ	じ	公		と	り	エ	れ	い	だ	た	農	。	
ま	込	市	の	地	を	さ	フ	ゃ	共		農	固	ン	ば	く	っ	今	地	撤	
し	ん	の	何	の	偉	っ	ア	な	イ		地	ま	ク	よ	ら	て	は	法	回	
た	だ	市	が	中	そ	て	丨	い	ン		が	っ	ロ	い	で	、	、	を	し	
。	り	民	問	に	う	い	ム	。	フ		取	た	丨	の	も	農	誰	一	て	
こ	設	が	題	部	に	る	が	放	ラ		得	農	ジ	で	あ	村	で	旦	く	
れ	備	圃	な	外	言	の	私	棄	を		で	業	ャ	す	り	に	も	白	だ	
ら	を	場	の	者	っ	で	財	さ	メ		き	委	丨	。	ま	農	農	紙	さ	
は	破	に	で	が	て	す	を	れ	ガ		な	員	の	む	す	地	地	に	い	
、	壊	上	す	入	る	。	投	た	フ		不	会	た	し	か	が	を	戻	。	
農	す	が	か	っ	ん	感	じ	公	ア		自	の	め	ろ	ら	欲	取	し	我	
業	る	り	。	て	で	謝	て	共	丨		由	秘	の	、	買	し	得	、	々	
生	等	込	昔	く	す	す	有	イ	ム		な	密	法	旧	っ	け	で	簡	は	
産	の	ん	、	る	か	べ	効	ン	が		状	会	で	農	て	れ	き	素	迷	
の	問	で	北	の	。	き	活	フ	買			議	す	地	農	ば	ま	化	路	

、

収	め	料	の	壁	な	先	ケ	た	成	農	省	食	示		の	心	は	害	持
を	、	用	国	の	っ	端	ッ	り	し	産	は	料	し	他	事	は	貴	あ	続
み	自	作	内	撤	た	技	ト	前	ま	物	、	自	し	に	実	あ	方	っ	可
て	給	物	完	廃	こ	術	の	の	し	輸	旧	給	ま	も	を	り	た	て	能
も	率	に	全	に	れ	を	調	こ	た	出	農	率	し	、	裏	あ	ち	一	性
、	41%	つ	自	も	ら	驅	査	と	。我	額	林	に	ょ	貴	付	ま	が	利	を
米	を	い	給	関	の	使	、	ば	々	3	水	つ	う	方	け	せ	思	な	大
930kg	達	て	を	わ	政	し	ニ	か	が	兆	産	い	。我	た	て	ん	う	し	き
、	成	も	達	ら	策	た	ー	り	や	円	省	て	が	ち	い	。す	ほ	で	く
麦	し	可	成	ず	に	そ	ズ	で	っ	、	で	で	国	が	ま	べ	ど	す	損
630kg	て	能	し	米	よ	の	に	し	た	食	す	よ	の	言	す	の	農	い	な
、	い	限	ま	麦	、	実	応	。国	こ	料	我	農	農	わ		統	業	い	う
大	ま	り	す	、	米	装	じ	内	と	自	々	産	計	な		計	に	で	の
豆	。平	無		食	麦	、	た	外	は	給	経	物	デ	い		ー	も	す	あ
280kg	均	人	ま	用	の	官	生	の	、	率	済	輸	ー	デ		タ	農	か	り
を	反	化	た	大	関	民	産	マ	実	68%	産	出	タ	を		が	村	、	、
		進	飼	豆	税	一	計	ー	当	を	業	額	お		そ	も	市	百	

た	立	歩				て	な	な			な	貴		こ		は	我	や	達	
成	っ	み		京		残	な	っ	以		い	方		し		も	々	農	成	
果	た	を	「	都		り	、	た	降		で	の		た		う	と	政	し	
を	混	共	先	大		の	思	。 二	の		く	勝		の		少	、	は	て	
出	乱	に	の	学		論	い	に	や		だ	手		が		し	民	科	い	
し	も	し	再	の		者	、	よ	り		さ	な		農		敬	間	学	ま	
続	な	て	編	の		の	疲	る	と		い	価		村		意	の	で	す	
け	く	二	に	教		見	れた	代	り		よ	値		へ		を	事	す	。 農	
て	、	年	より	授		解	ので	理	は		。 一	観		関		払	業	業	は	
い	学	が	旧	が		を	独	モ	明			を		心		っ	者	産	業	
ま	術	経	農	語		聴	演	デ	瞭			、		を		て	の	業	は	
す	界	過	学	る		く	会	ル	に			国		持		いた	皆	を	産	
・	と	し	研				モ	も	聞			民		つ		だ	様	成	業	
・	産	ま	究				ー	ま	き			に		べ		き	に	長	で	
・	業	した	科				ド	だ	取			無		き		たい	、	産	あ	
」	界	が	が				に	未	れ			理		だ		い	貴	業	り	
	に	、	我				し	熟	な			強		か		。 一	方	に	、	
	優	目	々					だ	く			い		。」		」	た	し	農	
	れ		と									し		起			ち	た	学	

と	の	日	また	の	12	オ	の	に	作	ha	ジ	て	ち	こ	行	北	弊	CEO		
は	北	々	た	後	年	リ	た	と	を	、	ル	お	、	し	っ	海	社	を	「	
浅	海	高	北	旧	前	テ	め	っ	し	海	、	り	ま	の	て	道	は	務	ど	
か	道	度	海	道	に	ィ	の	て	て	外	北	ま	た	主	お	お	、	め	う	
ら	大	化	道	総	北	で	旗	規	い	を	米	す	農	要	り	よ	北	て	も	
ぬ	学	し	大	研	見	あ	艦	模	ま	合	に	。また、	産	⌘	ま	び	海	お	皆	
縁	機	て	学	の	の	り	で	こ	す	わ	も	。また、	物	品	す	東	道	り	さ	
が	構	お	機	買	社	ま	あ	そ	。国	せ	事	。また、	輸	目	。米、	北	札	ま	ん、	
あ	の	り	構	収	内	す	り、	小	内	る	業	。また、	出	で	、	地	幌	す、	北	
り	機	ま	と	に	試	。弊	フ	さ	の	と	を	。また、	額	国	麦、	方	市	、	海	
ま	構	す	農	よ	験	社	ァ	い	生	1300	展	。また、	も	内	大豆、	に	に	道		
し	長	と	専	飛	場	の	丨	も	産	万	開	。また、	国	シ	、	お	本	農		
て	の	こ	の	躍	か	研	ス	の	抛	ha	し、	。また、	内	ェ	い	い	社	業		
な	藤	ろ	出	的	ら	究	ト	、	点	の	、	。また、	ト	ア	て	て	を	サ		
あ	村	で	身	に	始	開	・	研	は、	農	国	。また、	ッ	ト	農	農	構	ー		
。ま	と	私	者	成	まり、	発	プ	究	弊	地	内	。また、	プ	ッ	業	え、	し	ビ		
あ、	い	、こ	に	長	、そ	は、	ラ	開	社	で	で	。また、	とな	プ	生	主	ま	ス		
	男		り	し、			イ	発		耕	万	。また、	っ	を	産	に	す。	で		

[illegible]

O

レ	ン	タル	サー	バー	が	落	ち	た	か	と	思	っ	た	が				
他	の	事	業	者	向	け	の	イ	ン	ス	タ	ン	ス	は	正	常	に	動
い	て	い	る	ら	し	い	。	ま	た	、	本	日	に	入	っ	て	、	小
林	農	産	か	ら	農	業	用	ロ	ボ	ツ	ト	の	ロ	グ	が	上	が	っ
て	こ	な	い	と	III	に	問	い	合	わ	せ	が	あ	っ	た	よ	う	だ
先	方	と	し	て	は	、	来	週	か	ら	始	ま	る	稲	刈	り	を	前
に	動	作	確	認	を	行	い	た	い	よ	う	で	、	そ	の	た	め	に
農	業	用	ロ	ボ	ツ	ト	の	試	運	転	を	し	よ	う	と	し	た	矢
先	の	こ	と	で	あ	っ	た	。										
	事	態	が	深	刻	さ	を	増	す	中	、	原	因	究	明	は	一	旦
置	い	て	、	本	番	用	に	代	替	イ	ン	ス	タ	ン	ス	を	構	築
し	応	急	処	置	を	と	っ	た	。	こ	れ	で	暫	く	は	耐	え	る
が	、	い	つ	ま	た	こ	の	代	替	イ	ン	ス	タ	ン	ス	も	戦	士
す	る	か	分	か	ら	な	い	の	で	、	原	因	究	明	は	急	が	ね
ば	な	ら	な	い	。													
	原	因	不	明	の	ま	ま	、	代	替	イ	ン	ス	タ	ン	ス	は	無
事	一	週	間	稼	働	し	続	け	、	何	事	も	な	か	っ	た	か	の
よ	う	に	す	べ	て	の	収	穫	ロ	ボ	ツ	ト	の	試	運	転	と	、
セ	キ	ュ	リ	テ	ィ	ソ	フ	ト	の	イ	ン	ス	ト	ー	ル	が	完	了
し	た	。																

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

含む全農 業用ロボ ットであ り、メー カー等	いるのは、 現在稼働 中の収穫 用ロボッ トを	原因は調 査中。な お、通信 障害が発 生して	に原因究 明と復旧 に向けて 取り組ん でおり、	的に発生 している。 現在、関 係各社と とも	管理用サ ーバーと 接続でき ない障害 が一時	もに会見 を開き、「 収穫用ロ ボットが 指揮	長は、正 午、メガ ファーム 各社の代 表と	北海道農 業サービ スの大泉 代表取締 役社	と報告し た。	農業用ロ ボットに 通信障害 が発生し ている	メガファ ーム各社 は6月3日 、相次い で			「速報… 国内の全 農用ロボ ットに通 信障害」			発表した。 ニュース サイトだ。 踏んでみ ると、	その時、 佐藤がチ ャットか らリンク を飛			に。」	「おか しい、さ っきまで 動いてい たの
-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	------------	-------------------------------------	------------------------------------	--	--	--------------------------------------	--	--	---------------------------------------	------------------------------------	--	--	-----	-----------------------------------

[illegible]

電	て	が		ば	え	イ	も	ボ	討	ボ		な	イ	そ	現	稲	乗	て	
子	行	可	こ	か	る	ン	、	ッ	さ	ッ	通	っ	ン	も	れ	刈	用	か	日
制	わ	能	れ	り	ほ	タ	一	ト	れ	ト	信	て	数	そ	始	り	の	ら	本
御	れ	な	ら	が	ど	ー	向	の	た	の	障	久	十	も	め	を	ク	〜	じ
が	た	よ	の	が	徹	ネ	に	基	が	基	害	し	台	、	、	再	ラ	週	ゅ
入	だ	う	調	過	底	ッ	復	盤	、	盤	の	い	で	今	収	開	シ	間	う
っ	が	に	査	し	し	ト	旧	や	サ	交	原	。	行	の	穫	す	カ	が	の
た	、	改	と	た	た	以	す	通	ー	換	因		え	我	を	る	ル	経	稲
現	ほ	造	並	。	対	外	る	信	バ	を	究		る	が	開	メ	な	っ	刈
代	と	す	行		応	の	め	モ	ー	含	明		よ	国	始	ガ	コ	た	り
の	ん	作	し		も	全	ど	ジ	を	む	と		う	の	し	フ	ン	。	ロ
ロ	ど	業	て		虚	て	は	ユ	変	あ	対		な	農	た	ア	バ	そ	ボ
ボ	至	も	、		し	を	立	ー	更	ら	策		代	業	が	ー	イ	の	ッ
ッ	る	昼	有		く	交	た	ル	し	ゆ	の		物	が	焼	ム	ン	間	ト
ト	と	夜	人		、	換	な	を	も	る	た		で	高	け	が	を	、	が
は	こ	を	で		た	し	か	交	、	対	め		は	々	石	い	輸	海	文
、	ろ	徹	の		だ	た	っ	換	ロ	策	、		な	コ	に	く	入	外	鎮
改	に	し	作		時	と	た	し		が	ロ		く	ン	水	つ	し	か	化
造			業		間	言	。	て		検				バ	だ	か	、	ら	し

[illegible]

均 衡 を 加 速 す る た め 控 え る よ う に と 説 い た	買 い 占 め や 投 機 に よ る 価 格 高 騰 は 食 料 の 不	半 球 の 収 穫 シ ー ズ ン ま で 十 分 に あ る こ と 、	FAO は 緊 急 声 明 を 発 し 、 期 末 在 庫 率 は 南	が 買 い 占 め と 投 機 の 対 象 と な っ た 。	生 し 、 米 、 麦 、 大 豆 、 と う も ろ こ し の 全 て	こ れ に よ り 北 半 球 全 体 で 穀 物 の 減 収 が 発	12 年 来 の 世 界 同 時 不 作 の 発 生 。	刻 に す る 事 件 が 発 生 し た 。	ネ ー ゲ ー ム に 吞 ま れ る 中 で 、 事 態 を よ り 深	日 本 国 全 体 が 、 米 の 不 作 に 端 を 発 す る マ	あ っ た 。	は 60kg あ た り 35 万 円 の 高 値 が 付 い た 銘 柄 も	買 い 占 め に よ り 市 価 も 暴 騰 し 、 10 月 半 ば に	は ほ ぼ 毎 週 、 歴 代 の 高 値 を 更 新 し 続 け た 。	9 月 の 初 旬 か ら 、 国 内 の 米 先 物 取 引 市 場			た 。	遮 二 無 二 振 り 回 し た あ と 、 刃 を 自 ら に 向 け	そ の う ち の 一 名 は 、 夜 半 突 如 と し て 鎌 を
---	---	---	---	--	---	--	---	--	---	--	------------------	--	--	---	--	--	--	--------	---	--

穀		て	時	購	料	だ			態	う	る	亡	人	る			め	に	が	
物	こ	ら	収	入	確	け	マ		と	12	度	く	以	餓	日		る	よ	、	
生	う	れ	入	し	保	で	ネ		な	月	に	な	上	死	本		こ	る	マ	
産	し	た	を	、	を	は	ー		っ	に	穀	っ	が	者	国		と	連	ネ	
国	た	。	得	然	目	な	ゲ		た	は	物	て	、	の	政		の	鎖	ー	
は	手		て	る	的	か	ー			デ	の	い	餓	デ	府		で	は	ゲ	
禁	法		、	後	に	っ	ム			ー	市	る	死	ー	は		き	も	ー	
輸	が		政	に	、	た	に			タ	価	。	ま	タ	、		な	は	ム	
措	知		府	売	国	。	参			の	が	そ	た	を	二		い	や	へ	
置	ら		の	却	家	あ	加			公	高	れ	は	公	月		怪	人	の	
を	れ		財	す	予	る	し			表	騰	も	飢	表	一		物	間	誘	
発	る		政	る	算	国	て			を	す	、	餓	し	日		と	の	惑	
動	よ		赤	こ	で	で	き			や	る	餓	が	始	か		変	理	と	
し	う		字	と	大	は	た			め	た	死	原	め	ら		貌	性	餓	
	に		補	で	量	、	の			て	め	者	因	た	国		し	ご	死	
事	な		て	多	の	国	は			し	と	数	と	。	内		て	と	へ	
態	る		ん	額	穀	民	投			ま	う	が	な	毎	に		い	き	の	
を	と		に	の	物	の	機			う	と	増	っ	日	お		た	に	恐	
収	、		充	臨	を	食	筋			事	と	え	て	100	け		。	止	怖	

い、	か		す	毎	ら	僕	ま		頬	林			に	る			た	国	拾	
と	っ	私	ね	日	は	ら	し	「	の	は	オ		達	餓			。	に	し	
言	た	も、	え	ジ	ジャ	が	た	麦	骨	憔	ン		し	死	翌			お	よ	
っ	た	村	。	ャ	ガイ	食	。	が	と	悴	ラ		た	者	年			け	う	
た	だ	松	」	イ	イ	べ	一	刈	血	し	イ		。	、	の			る	と	
		も		モ	モ	る	日	れ	管	て	ン			凍	月			市	し	
	村	か		を	を	量	で	ま	が	い	ミ			死	ま			価	た	
	松	け		食	食	が	も	し	浮	た	ー			者	で			の	。	
	は	る		べ	べ	少	早	た	き	。	テ			数	に			高	だ	
	ぽ	言		る	て	な	く	。	出	容	ィ			は	一			騰	が	
	つ	葉		の	い	く	消	今	て	貌	ン			、	連			を	、	
	り	が		は	ま	て	費	年	い	か	グ			国	の			招	結	
	と	見		う	す	済	者	は	る	ら	で			内	騒			いた	局	
		つ		ん	さ	む	に	全	。	血	画			だ	動			ただ	穀	
	申	か		ざ	す	よ	届	部		色	面			け	に			だけ	物	
	し	ら		り	が	う	く	大		が	に			で	端			であ	の	
	訳	な		しま	に	に	よう	麦		消	映			に	を			っ	純	
	な					僕	に	し		え	る			万	発				輸	
							。			、	小			人	す				入	

[illegible]

[illegible]

ん	あ		が	地	険			よ	内	ば	農	実	君					画		
犧	そ	「可	再	方	で		も	う	外	、	業	現	。					面		
牲	こ	愛	現	に	あ	「我	う	な	で	メ	の	し	我	「達	一	画		に	小	
だ	は	そ	さ	も	る	々	一	こ	莫	ガ	リ	た	々	成	人	の	向	野		
。	ご	う	れ	雇	か	と	人	と	大	フ	ス	。	と	感	が	こ	か	寺		
	愁	な、	る	用	を	し	も	は	な	ア	ク	財	し	の	ゆ	っ	っ	は、		
	傷		だ	は	国	て	口	何	利	ー	耐	政	て	間	っ	く	て	暗		
	さ	小林	ろ	戻	民	も、	を	一	益	ム	性	赤	は、	違	り	り	問	い		
	ま	農	う。	り、	に	い	開	つ	を	は	も	字		い	と	と	い	部		
	だ	産	」	美	周	か	く。	無	拳	た	向	も	最	で	語	る。	か	屋		
		と		し	知	に		い	げ	だ	上	帳	大	は			け	で、		
	し	言		い	で	自		ね。	た。	の	し	消	多	な			る。	ラ		
	か	っ		日	き	動		」	責	一	た。	し	数	い				ッ		
	し、	た		本	た。	化			任	社	さ	だ。	の	か				プ		
	や	か		の	こ	農			を	を	ら	我	最	ね、				ト		
	む	か		原	れ	業			感	除	に	が	大	小				ッ		
	を	ね		風	で、	が			じ	い	言	国	幸	野				プ		
	え	？		景		危			る	国	え	の	福	寺				の		

、

[illegible]

[illegible]

「当機間はもなく離陸いたします。」

眼下に、麦のロゼットが無数に広が

る

○

この国の春はまだ遠い。

[Episode # 9]

END